

# 進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

## I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	総合政策研究科
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.2 教育課程・教育内容
小項目	6.2.1 教育課程の編成・実施方針に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成しているか。
要素	必要な授業科目の開設状況 順次性のある授業科目の体系的配置 専門教育・教養教育の位置づけ(学部) コースワークとリサーチワークのバランス(院)
小項目	6.2.2 教育課程の編成・実施方針に基づき、各課程に相応しい教育内容を提供しているか。
要素	学士課程教育に相応しい教育内容の提供(学部) 専門分野の高度化に対応した教育内容の提供(院) 理論と実務との架橋を図る教育内容の提供(専院) 初年次教育・高大連携に配慮した教育内容(学部)

## II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

### 【現状の説明】

#### 《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 学部4学科体制と連動し、総合政策という本研究科の教育目標を実現するため、大学院の授業科目体系の再編成を2010年度中に検討し、2011年度より新しいカリキュラムへ移行する。	→学部4学科と連動した大学院授業科目の再編成・再体系化の有無。	A
2. 上記1で掲げた目標の中で、大学院の授業科目体系に、英語修了コース、教職科目、EU連携コース科目を適宜、配置する。	→英語修了コース、教職科目、EU連携コース科目の再編・配置の有無。	A
3. 上記1で掲げた目標の中で、総合政策の研究・論文執筆に必要な基礎的方法論および理論を習得するための授業科目を、適宜、配置する。	→総合政策の研究・論文執筆に必要な基礎的方法論および理論を習得するための授業科目の配置の有無および履修者数。	A
4. 上記1で掲げた目標の中で、リサーチプロジェクト(課題研究)を、本来の研究プロジェクトのもと、複数教員・複数院生が参加する形で行われるよう、授業科目としての履修および運営方法を再考する。	→リサーチプロジェクト(課題研究)の運営方法の変更の有無。	A
5. 上記1で掲げた目標の中で、大学院の授業体系の中に新たに「災害復興コース」を設置する。また、2013年度より一級建築士の受験資格となるインターンシップの科目を設置する。	→「災害復興コース」の登録者数、および一級建築士インターンシップの登録者数。	B

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

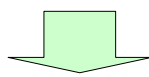
### 《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目6.2.1	(方針) 高度専門的職業人の養成と研究者の養成を目指して、プロフェッショナル・コースとアカデミック・コースの2つのコースを設定し、多様なバックグラウンドをもつ学生にフレキシブルに対応できるよう、総合政策、メディア情報、国際開発戦略の3つの政策領域を設置する。 (現状説明) 上記の方針に沿って実施しているが、2011年度に改正する予定である。
☆ 小項目6.2.2	(現状説明) 学生のニーズとカリキュラム体系とのずれが生じてきたため、2011年度より改正する予定である。
☆ その他	

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目6.2.1	
★小項目6.2.2	
その他	



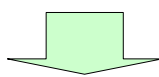
【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目6.2.1	
★小項目6.2.2	
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目6.2.1	
★小項目6.2.2	
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目6.2.1	
★小項目6.2.2	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

★その他 (自由記述)	
----------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

【学外委員】

○掲げた目標が着実に実現されていることは評価できます。

【学内委員】

○2009年度の設定された目標の達成に向けた進捗度は良好なようです。引き続き、努力することが望まれます。

○現在検討をしていることは評価できます。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★なし	
-----	--

Ⅴ. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

6.2.0.S1	カリキュラムの編成や体系等を常に検討する委員会の有無と開催頻度
6.2.0.S2	MDSプログラム履修者の全学生に占める割合
6.2.0.S3	ジョイント・ディグリー制度への参加者の全学生に占める割合
6.2.0.S4	専門教育、教養教育、外国語教育、情報教育等ごとの開設授業科目数

<個別的な指標>
